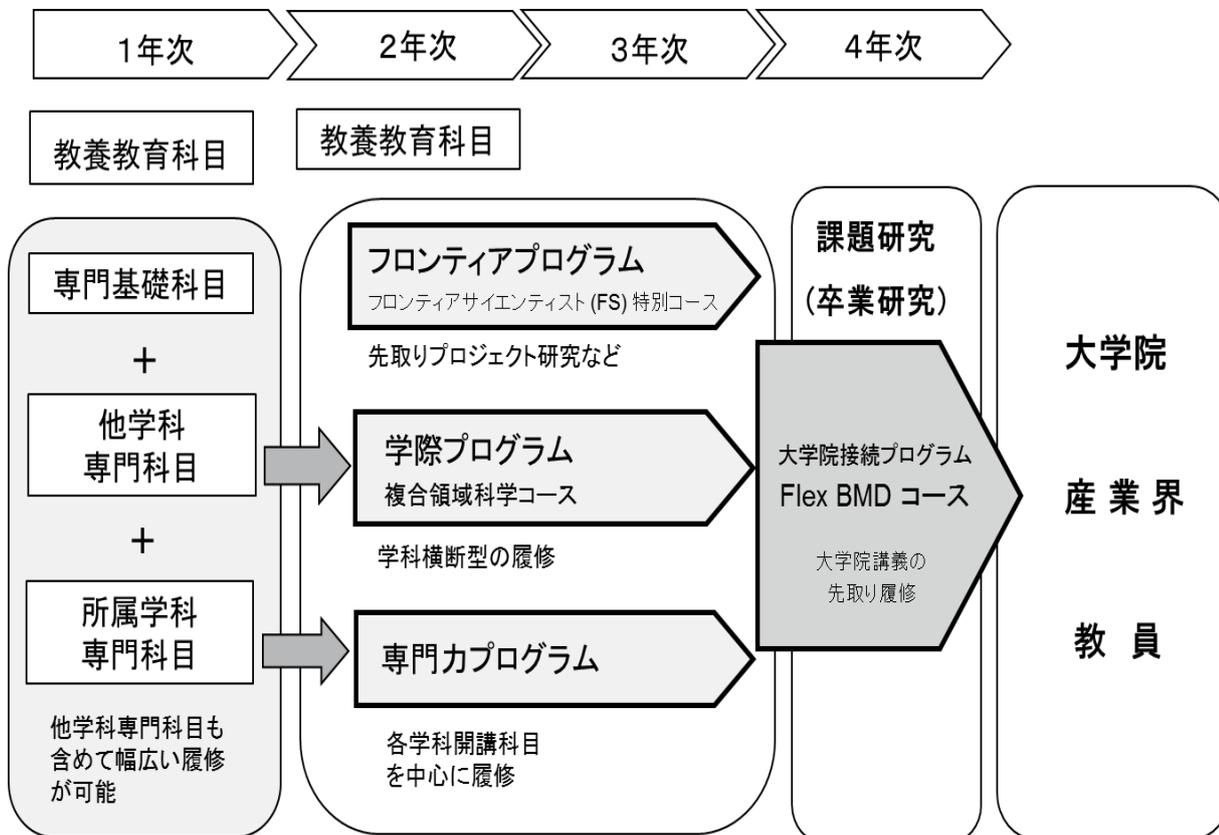


5. 理学部の教育プログラム

1年次は、教養教育科目、専門基礎科目、所属学科専門科目、他学科専門科目等を幅広く学び、2年次以降に希望するプログラムを選択します。プログラムの途中変更も可能ですが、必修科目や卒業要件等の条件が異なる場合があるので、十分に確認して下さい。



- **フロンティアプログラム** (フロンティアサイエンティスト特別コース, 便覧 p.51)

科学の最前線で活躍できる研究者・技術者・教育者を目指すためのプログラム。

理学部入学定員の10%程度を選抜します(2年次1学期～)。

- **学際プログラム** (複合領域科学コース, 便覧 p.50)

学科横断的に学際領域を幅広く学び、新しい研究分野で活躍することを目指すためのプログラム。

理学分野を幅広く学びたい教員志望者なども対象となります。

各学科学生定員の20%程度以内を選抜します(2年次1学期～, 2年次3学期～, 3年次1学期～)。

- **専門カプログラム**

各学科の開講科目を中心に履修し、高い専門性を修得するためのプログラム。

他学部で開講される専門関連科目を履修して、専門力を強化することもできます(便覧 p.49)。

- **大学院接続プログラム** (Flex BMD コース, 4年次～)

4年次に先取り履修した大学院の講義が大学院進学後に単位認定されます。

研究活動に応じた柔軟な履修が可能になります。

6. 卒業要件について

卒業要件単位

教育プログラム		専門力プログラム	フロンティアプログラム	学際プログラム
科目区分				
教養教育科目		30	30	30
専門教育科目	専門基礎科目	12	12	12
	専門科目	82	82	82 (所属学科12以上, 他学科12以上)
卒業要件単位 合計		124	124	124

教養教育科目

科目区分			卒業要件単位					
			必修	選択必修	計			
知的理解	現代と社会	「人文・社会科学系科目」	2単位	4単位以上 (注2)	26単位			
	現代と生命	「生命科学系科目」	2単位					
	現代と自然	「自然科学系科目」 (注1)	2単位					
言語	初修外国語		4単位			4単位以上 (注2)	26単位	
	日本語	応用日本語 ※留学生のみ						
	英語	ブレ上級英語						
		上級英語						
		英語(スピーキング)－1						0.5単位
		英語(スピーキング)－2						0.5単位
		英語(リーディング)－1						0.5単位
		英語(リーディング)－2						0.5単位
		英語(ライティング)－1						0.5単位
		英語(ライティング)－2						0.5単位
		英語(リスニング)－1		0.5単位				
		英語(リスニング)－2		0.5単位				
		英語(S&L)－1		1単位				
		英語(S&L)－2		1単位				
英語(R&W)－1		1単位						
英語(R&W)－2		1単位						
実践知・感性	実践知	「実践・社会連携系科目」						
	芸術知	「芸術系科目」						
汎用的技能と健康	情報教育	情報処理入門1(情報機器の操作を含む)	1単位					
		情報処理入門2(情報機器の操作を含む)						
		情報処理入門3(情報機器の操作を含む)						
		「ICT(Information & Communication Technology)系科目」						
	情報・数理データサイエンス	数理・データサイエンスの基礎	1単位					
	キャリア教育	「キャリア教育・学生支援系科目」						
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学							
	スポーツ演習(する・みる・支える) (注3)							
アカデミック・ライティング	「アカデミック・ライティング科目」							
導入教育	補習教育	「高大接続科目」 (注4)						
	ガイダンス	自然科学入門	2単位	4単位				
		「全学ガイダンス科目」	1単位					
高年次教養	「高年次教養科目」 (注5)	1単位						
合計			30単位					

注1)物理学科生については、教養物理学(力学)1及び2、教養物理学(電磁気学)1及び2、教養物理学実験は卒業要件単位に算入されません。

注2)知的理解科目、初修外国語、日本語(留学生のみ)、ブレ上級英語、上級英語の必修単位数に加えて、これらの科目から4単位以上を修得する必要があります。

注3)スポーツ演習(する・みる・支える)は2単位を限度として卒業要件単位に算入されます。

注4)補習教育(高大接続科目)は卒業要件単位に算入されません。

注5)高年次教養については、理学部開講科目を必ず受講すること。他学部開講の同科目を修得した場合は、卒業要件単位に算入されません。

専門基礎科目について

科学の進歩とともに、必要とされる専門知識の組み合わせの種類は大幅に増えつつあり、幅広い専門知識を持った人材が求められる傾向にあります。

このような幅広い学修に対応するため、他学科生向けの専門基礎科目を開講しています(下表：○履修可，X履修不可)。さらに深く学びたい人は、他学科の専門科目を履修することもできます。

授業科目	単位数	数学科		物理学科	化学科	生物学科	地球科学科
		必修	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
		8	4	12	12	12	12
微分積分学Ia	1	●		○	○	○	○
微分積分学Ib	1	●		○	○	○	○
微分積分学IIa	1	●		○	○	○	○
微分積分学IIb	1	●		○	○	○	○
線形代数学Ia	1	●		○	○	○	○
線形代数学Ib	1	●		○	○	○	○
線形代数学IIa	1	●		○	○	○	○
線形代数学IIb	1	●		○	○	○	○
現代数学要論Ia	1		X	○	○	○	○
現代数学要論Ib	1		X	○	○	○	○
現代数学要論IIa	1		X	○	○	○	○
現代数学要論IIb	1		X	○	○	○	○
基礎物理学 1 a	1		○	X	○	○	○
基礎物理学 1 b	1		○	X	○	○	○
基礎物理学 2 a	1		○	X	○	○	○
基礎物理学 2 b	1		○	X	○	○	○
一般化学 1	1		○	○	X	○	○
一般化学 2	1		○	○	X	○	○
基礎有機化学 1	1		○	○	X	○	○
基礎有機化学 2	1		○	○	X	○	○
基礎生物学 1 a	1		○	○	○	X	○
基礎生物学 1 b	1		○	○	○	X	○
基礎生物学 2 a	1		○	○	○	X	○
基礎生物学 2 b	1		○	○	○	X	○
基礎地球科学 1 a	1		○	○	○	○	X
基礎地球科学 1 b	1		○	○	○	○	X
基礎地球科学 2 a	1		○	○	○	○	X
基礎地球科学 2 b	1		○	○	○	○	X
基礎物理学実験	1		X	X	○	○	○
基礎化学実験	1		X	○	X	○	○
基礎生物学実験	1		X	○	○	X	○
基礎地球科学実験	1		X	○	○	○	X

他学科専門科目の履修について

授業によっては人数制限などがある場合もありますので、**履修登録を行う前に、必ず担当教員に履修の可否を問い合わせ下さい。**

問い合わせ不要の専門科目

(配布資料の準備等のため、初回授業までに必ず履修登録をして下さい)

生物学科開講科目	分子生物学 IA, IB, 細胞生物学 IA, IB, 植物生理学 I, II
----------	---

他学科生履修不可の専門科目

地球科学科開講科目	地球科学入門 (他学科生向けには基礎地球科学実験があります)
-----------	-----------------------------------

専門教育科目

○数 学 科

科目区分	履修区分	配当年次	授業科目	単位数	卒業要件単位	
専門基礎科目	必修及び 選択必修	1年次	P.39を参照		1 2	
専 門 科 目	必 修	2年次	微分積分学Ⅲa	1	3 0	8 2
			微分積分学Ⅲb	1		
			代数学基礎Aa	1		
			代数学基礎Ab	1		
			代数学基礎Ba	1		
			代数学基礎Bb	1		
			幾何学基礎Aa	1		
			幾何学基礎Ab	1		
			解析学基礎Aa	1		
			解析学基礎Ab	1		
	3年次	幾何学基礎Ba	1			
		幾何学基礎Bb	1			
		解析学基礎Ba	1			
		解析学基礎Bb	1			
	4年次	数理科演習	4			
		課題研究	1 2			
	選 択 及 び 選 択 必 修	1年次	数学演義Ia	1	講義・演習 18以上	
			数学演義Ib	1		
			数学演義IIa	1		
			数学演義IIb	1		
数学演義IIIa			1			
数学演義IIIb		1				
2年次		微分積分学Ⅲa演習	1			
		微分積分学Ⅲb演習	1			
		代数学基礎Aa演習	1			
		代数学基礎Ab演習	1			
	代数学基礎Ba演習	1				
代数学基礎Bb演習	1					
幾何学基礎Aa演習	1					
幾何学基礎Ab演習	1					
現代数学要論Ⅲa	1					
現代数学要論Ⅲb	1					
現代数学要論Ⅳa	1					
現代数学要論Ⅳb	1					
3年次	代数学a	1				
	代数学b	1				
	代数学演習	3				
	幾何学Ia	1				
	幾何学Ib	1				
	幾何学IIa	1				
	幾何学IIb	1				
	幾何学演習	3				
	解析学Ia	1				
	解析学Ib	1				
	解析学IIa	1				
	解析学IIb	1				
	解析学演習	3				
離散数学IIa	1					
離散数学IIb	1					
情報数学a	1					
情報数学b	1					
確率・統計a	1					
確率・統計b	1					
幾何学基礎Ba演習	1					
幾何学基礎Bb演習	1					
解析学基礎a演習	1					
解析学基礎b演習	1					
4年次	代数学特論Ia	1	4 以上			
	代数学特論Ib	1				
	代数学特論IIa	1				
	代数学特論IIb	1				
	幾何学特論Ia	1				
	幾何学特論Ib	1				
	幾何学特論IIa	1				
	幾何学特論IIb	1				
	解析学特論Ia	1				
	解析学特論Ib	1				
解析学特論IIa	1					
解析学特論IIb	1					
2年次	情報処理論a	1				
	情報処理論b	1				
3年次	離散数学Ia	1				
	離散数学Ib	1				
	数学特別講義	1				
関 連 その他		他学科開講科目及び共通科目 他学部開講科目			1 4 以下	
専門教育科目卒業要件単位 合計						9 4

○物 理 学 科

科目区分	履修区分	配当年次	授業科目	単位数	卒業要件単位
専門基礎科目	選択必修	1年次	P.39を参照		12
専 門 科 目	必修	1年次	物理学実験1	2	18
		2年次	物理学実験2	2	
		3年次	物理学実験3	4	
		4年次	物理学課題研究	10	
	選択及び必修	1年次	力学1A	1	14以上
			力学1B	1	
			力学2A	1	
			力学2B	1	
		2年次	電磁気学1A	1	
			電磁気学1B	1	
			電磁気学2A	1	
			電磁気学2B	1	
			量子力学1A	1	
			量子力学1B	1	
		3年次	統計力学1A	1	
			統計力学1B	1	
	統計力学2A		1		
	統計力学2B		1		
	1年次	力学演習1A	1	12以上	
		力学演習1B	1		
		力学演習2A	1		
		力学演習2B	1		
		電磁気学演習1A	1		
		電磁気学演習1B	1		
		電磁気学演習2A	1		
		電磁気学演習2B	1		
統計力学演習1A		1			
統計力学演習1B		1			
1年次	物理学入門A	1	82		
	物理学入門B	1			
	物理学1A	1			
	物理学1B	1			
	物理学2A	1			
	物理学2B	1			
	力学3A	1			
	力学3B	1			
	物理学3A	1			
	物理学3B	1			
	物理学4A	1			
	物理学4B	1			
3年次	振動波動A	1			
	振動波動B	1			
	電磁気学3A	1			
	電磁気学3B	1			
	量子力学3A	1			
	量子力学3B	1			
	コンピュータ物理学1A	1			
	コンピュータ物理学1B	1			
	コンピュータ物理学2A	1			
	コンピュータ物理学2B	1			
	固体物理学1A	1			
	固体物理学1B	1			
	素粒子原子核物理学A	1			
	宇宙天体物理学A	1			
	量子光学A	1			
	量子光学B	1			
	相対性理論1A	1			
	相対性理論1B	1			
相対性理論2A	1				
相対性理論2B	1				
相対性理論2B1	1				
基礎先端物理学1	0.5				
基礎先端物理学2	0.5				
先端物理学1	0.5				
先端物理学2	0.5				
4年次	固体物理学2A	1			
	固体物理学2B	1			
	固体物理学3A	1			
	固体物理学3B	1			
	素粒子原子核物理学B	1			
	相対論的量子力学	1			
	宇宙天体物理学B	1			
関連 その他		他学科開講科目及び共通科目 他学部開講科目		8以下	
専門教育科目卒業要件単位 合計					94

○化 学 科

科目区分	履修区分	配当年次	授業科目	単位数	卒業要件単位
専門基礎科目	選択必修	1年次	P.39を参照		12
専 門 科 目	必 修	1年次	基礎物質化学1	1	47
			基礎物質化学2	1	
			化学英語1	1	
			化学英語2	1	
			有機化学1	1	
			有機化学2	1	
			有機化学3	1	
			有機化学4	1	
			分析化学1	1	
			分析化学2	1	
			基礎化学実験1	1	
			基礎化学実験2	1	
	2年次	物理化学1	1		
		物理化学2	1		
		量子化学1	1		
		量子化学2	1		
		無機化学1	1		
		無機化学2	1		
	3年次	化学実験1	2.5		
		化学実験法1	1		
		化学実験法2	2.5		
		化学実験法2	1		
		化学実験3	2.5		
化学実験法3		1			
4年次	化学実験4	2.5			
	化学実験法4	1			
選択及び 選択必修	2年次	課題研究1	3	82	
		化学ゼミナール	2		
	3年次	課題研究2	10		
		物理化学3	1		
	3年次	物理化学4	1		
		物理化学5	1		
	2年次	物理化学6	1		
		物理化学7	1		
	3年次	量子化学3	1		
		量子化学4	1		
	2年次	量子化学5	1		
		量子化学6	1		
		量子化学7	1		
		有機化学5	1		
		有機化学6	1		
		有機化学7	1		
	3年次	有機化学8	1		
		有機機器分析1	1		
有機機器分析2		1			
有機化学9		1			
有機化学10		1			
有機化学11		1			
2年次	有機化学12	1			
	有機合成化学1	1			
	有機合成化学2	1			
	無機化学3	1			
3年次	無機化学4	1			
	錯体化学1	1			
	錯体化学2	1			
	無機化学5	1			
2年次	無機化学6	1			
	無機化学7	1			
	錯体化学3	1			
	錯体化学4	1			
3年次	分析化学3	1			
	分析化学4	1			
1年次	分析化学5	1			
	分析化学6	1			
3年次	化学数学1	1			
	化学数学2	1			
	化学数学3	1			
3年次	化学数学4	1			
	固体化学1	1			
	固体化学2	1			
3年次	固体化学3	1			
	他学科開講科目及び共通科目				
関連		他学部開講科目		10以下	
その他		特別課題研究	3	卒業要件外	
関連	3年次				
専門教育科目卒業要件単位 合計					94

○生物学科

科目区分	履修区分	配当年次	授業科目	単位数	卒業要件単位	
専門基礎科目	選択必修	1年次	P.39を参照		12	
専門科目	必修	1年次	基礎生物学A1	1	49	
			基礎生物学A2	1		
			基礎生物学B1	1		
			基礎生物学B2	1		
			生物学入門I	1		
			生物学入門II	1		
		2年次	生化学IA	1		
			生化学IB	1		
			分子遺伝学IA	1		
			分子遺伝学IB	1		
			遺伝学IA	1		
			遺伝学IB	1		
3年次	発生生物学IA	1				
	発生生物学IB	1				
	生体制御学IA	1				
	生体制御学IB	1				
	神経生物学IA	1				
	神経生物学IB	1				
4年次	生物学実験A	4				
	生物学実験B	4				
	生物英語演習	2				
	生物学ゼミナールA	1				
専門科目	選択及び 選択必修	1年次	生物学実験C	4	6以上	
			生物学実験D	4		
			生物学ゼミナールB	2		
			課題研究	10		
			1年次	分子生物学IA		1
				分子生物学IB		1
		細胞生物学IA		1		
		細胞生物学IB		1		
		植物生理学I		1		
		植物生理学II		1		
		2年次	他学科開講科目			
			生物学特論	1		
生化学IIA	1					
生化学IIB	1					
分子遺伝学IIA	1					
分子遺伝学IIB	1					
細胞生物学IIA	1					
細胞生物学IIB	1					
植物細胞生理学I	1					
植物細胞生理学II	1					
動物行動学I	1					
動物行動学II	1					
生態学I	1					
生態学II	1					
臨海実習I	2					
3年次	臨海実習II	2				
	臨海実習III	2				
	臨海実習IV	2				
	臨海実習V	2				
	生化学IIIA	1				
	生化学IIIB	1				
	分子生物学IIA	1				
	分子生物学IIB	1				
	遺伝学IIA	1				
	遺伝学IIB	1				
	生物物理学I	1				
	生物物理学II	1				
発生生物学IIA	1					
発生生物学IIB	1					
生体制御学IIA	1					
生体制御学IIB	1					
生体制御学IIIA	1					
生体制御学IIB	1					
動物生理学I	1					
動物生理学II	1					
神経生物学IIA	1					
神経生物学IIB	1					
他学科開講科目及び共通科目						
関連	他学部開講科目					
その他	94					
		10以下				
					82	
					94	

○地球科学科

科目区分	履修区分	配当年次	授業科目	単位数	卒業要件単位
専門基礎科目	選択必修	1年次	P.39を参照		12
専門科目	必修	1年次	地球科学ゼミナール1	1	23
			地球科学ゼミナール2	1	
			現代地球科学1	1	
			現代地球科学2	1	
			現代地球科学3	1	
			現代地球科学4	1	
		地球科学入門	1		
		2年次	地球科学ゼミナール3	1	
			地球科学ゼミナール4	1	
			地球科学ゼミナール5	1	
		3年次	地球科学ゼミナール6	1	
			地球科学ゼミナール7	1	
	4年次	地球科学ゼミナール8	1		
		地球科学論講	4		
	課題研究	6			
選択必修	2年次	顕微鏡岩石学実験1	1	5以上	
		顕微鏡岩石学実験2	1		
	大気科学演習1	1			
3年次	測量地理情報学実習	1			
	固体地球物理学実験	1			
地球環境化学実験	1				
大気科学演習2	1				
2年次	鉱物結晶学1	1	36以上		
	鉱物結晶学2	1			
	造岩鉱物学	1			
	地形学概説	1			
	固体地球物理学	1			
	地球物理のための数学	1			
	宇宙と地球の化学1	1			
	宇宙と地球の化学2	1			
	地球惑星化学1	1			
	地球惑星化学2	1			
	大気科学1	1			
	大気科学2	1			
	大気科学3	1			
	大気科学4	1			
	地球化学熱力学1	1			
	地球化学熱力学2	1			
	3年次	基礎岩石学		1	
		火成岩成因論		1	
		変成岩成因論		1	
		地球物質反応論1		1	
		地球物質反応論2		1	
		情報地質学		1	
		変動地形学		1	
		地震危険度評価論		1	
		地球統計学		1	
		地球形成論		1	
		地球惑星内部構造論1		1	
地球惑星内部構造論2		1			
地球惑星内部構造論3		1			
地球惑星内部構造論4		1			
地球連続体力学1		1			
地球連続体力学2	1				
地震学1	1				
地震学2	1				
地球惑星化学3	1				
地球惑星化学4	1				
微量元素地球化学	1				
同位体年代学	1				
大気科学5	1				
大気科学6	1				
大気科学7	1				
大気科学8	1				
大気科学9	1				
大気科学10	1				
大気科学11	1				
大気科学12	1				
選択	2年次	地質図学演習	0.5		
	2~4年次	地球科学特講1	1		
		地球科学特講2	1		
地球科学特講3		1			
地球科学特講4		1			
3年次	情報地質学巡検	1			
	岩石鉱物学巡検	1			
関連		他学科開講科目及び共通科目		10以下	
その他		他学部開講科目			
専門教育科目卒業要件単位 合計					94

○共通科目

科目区分	履修区分	年次	授業科目	単位	備考
専門科目	関連	1	天文学入門	1	
		1～3	就業体験実習(インターンシップ)	1	
		1～3	就業体験実習(インターンシップ)	2	
		3	自然系博物館実習	3	学芸員資格取得者用
		2	フロンティアサイエンティストリテラシー	1	フロンティアサイエンティスト特別コース開講科目
		2	先端科学実習	1	フロンティアサイエンティスト特別コース開講科目
		3	先取りプロジェクト研究	5	フロンティアサイエンティスト特別コース開講科目 ※卒業要件外

7. 課題研究の履修要件(4年次進級要件)について

課題研究(化学科は課題研究2)の履修開始時期は、4月または10月とします。

また、学科によっては10月からの課題研究履修ができない場合がありますので、10月進級の可能性がある場合は、予め担任教員(または指導教員)へ相談すること。

専門プログラム(数学科)

- (1) 卒業要件単位を94単位以上修得していること。
- (2) 専門基礎科目の必修科目を8単位修得していること。
- (3) 2年次専門科目の必修科目を10単位修得していること。
- (4) 数学科1, 2年次開講の専門科目(必修を除く)の中から10単位以上修得していること。

専門プログラム(物理学科)

- (1) 卒業要件単位を94単位以上修得していること。
 - (2) 「物理学実験1」, 「物理学実験2」及び「物理学実験3」を修得していること。
- ※ ただし、第3年次編入学学生については、上記(2)の内、「物理学実験1」及び「物理学実験2」を修得したものとみなす。

専門プログラム(化学科)

課題研究2の履修要件(4年次進級要件)

- (1) 卒業要件単位を96単位以上修得していること。
 - (2) 「基礎化学実験1, 2」, 「化学実験1-4」, 「化学実験法1-4」及び「課題研究1」をすべて修得していること。
 - (3) 2年次までの専門科目の必修科目(「基礎化学実験1, 2」, 「化学実験1」及び「化学実験法1」を除く)を14単位以上修得していること。
 - (4) 専門科目の選択及び選択必修科目を28単位以上修得していること。
- ※ ただし、第3年次編入学学生については、以下の要件を適用する。
- (1) 卒業要件単位を90単位以上修得していること。
 - (2) 「基礎化学実験1, 2」, 「化学実験1-4」, 「化学実験法1-4」及び「課題研究1」をすべて修得していること。
 - (3) 2年次までの専門科目の必修科目(「基礎化学実験1, 2」, 「化学実験1」及び「化学実験法1」を除く)を12単位以上修得していること。
 - (4) 専門科目の選択及び選択必修科目を24単位以上修得していること。

課題研究1(3年次第4学期で履修)の履修要件

3年次第3学期開始時まで(夏季集中講義を含む)

- (1) 卒業要件単位を80単位以上修得していること。
 - (2) 「基礎化学実験1, 2」, 「化学実験1-3」及び「化学実験法1-3」をすべて修得していること。
 - (3) 2年次までの専門科目の必修科目(「基礎化学実験1, 2」, 「化学実験1」及び「化学実験法1」を除く)を14単位以上修得していること。
 - (4) 専門科目の選択及び選択必修科目を22単位以上修得していること。
- ※ ただし、第3年次編入学学生については、以下の要件を適用する。
- (1) 卒業要件単位を74単位以上修得していること。
 - (2) 「基礎化学実験1, 2」, 「化学実験1-3」及び「化学実験法1-3」をすべて修得していること。
 - (3) 2年次までの専門科目の必修科目(「基礎化学実験1, 2」, 「化学実験1」及び「化学実験法1」を除く)を12単位以上修得していること。
 - (4) 専門科目の選択及び選択必修科目を18単位以上修得していること。

再履修又は半年遅れで履修する場合のみ、課題研究1の第2学期での履修を認める。

その場合、第1学期開始時までの修得単位で履修要件を満たすかを判断する。

専門カプログラム（生物学科）

- (1) 卒業要件単位を100単位以上修得していること。
- (2) 教養教育科目のうち、高年次教養科目を除く必修科目23単位を修得していること。
- (3) 3年次までの専門科目の必修科目をすべて修得していること。

※ ただし、岡山大学協定校への留学(EPOK等)によって3年次第3・4学期開講の必修科目を履修できなかった学生については、3年次第3・4学期必修科目を4年次に履修することを認める。この場合、課題研究は生物学科で行うものとし、履修を許可された教員のもとで課題研究を行う。

専門カプログラム（地球科学科）

- (1) 卒業要件単位を96単位以上修得していること。
- (2) 教養教育科目のうち、高年次教養科目を除く必修科目23単位を修得していること。
- (3) 2年次までの専門科目の必修科目をすべて修得していること。
- (4) 3年次までの専門科目の選択必修科目のうち、実験・実習・演習科目を5単位以上と、実験・実習・演習科目以外の科目を26単位以上修得していること。

※ ただし、第3年次編入学学生については、上記(3)のうち、「地球科学ゼミナール5」及び「地球科学ゼミナール6」は、課題研究の履修要件に含めない。

フロンティアプログラム（フロンティアサイエンティスト特別コース）

- (1) 所属学科専門カプログラムの履修要件が適用される。
- (2) 「先取りプロジェクト研究」の指導教員のもとで課題研究を履修しても良い。
- (3) 「先取りプロジェクト研究」の指導教員とは異なる指導教員のもとで課題研究を履修しても良い。
- (4) 各教員が受け入れる学生数におけるフロンティアプログラム学生数の扱いは各学科が定めた数とする。

学際プログラム（複合領域科学コース）

- (1) 卒業要件単位を100単位以上修得していること。
- (2) 課題研究の履修を希望する研究室の教員から事前に承諾を得ること。
- (3) 所属学科で課題研究の履修を希望する場合、各教員が受け入れる本コースの学生数は各学科が定めた数とする。
- (4) 所属学科以外で課題研究の履修を希望する場合、各教員が受け入れる本コースの学生は2名までとする。

8. 岡山大学理学部履修科目の上限設定等に関する内規

制定	平成16年	4月29日
改正	平成17年	12月8日
改正	平成21年	6月3日
改正	平成22年	3月3日
改正	平成25年	3月6日
改正	平成26年	3月5日
改正	平成28年	3月2日

(趣旨)

第1条 この内規は、岡山大学理学部規程（平成16年岡大理規程第1号）第13条の規定に基づき、岡山大学理学部における履修科目の上限設定等について定める。

(履修科目の上限)

第2条 履修科目として登録できる単位数の上限は、1年間60単位とし、次の各号に掲げるものについては、単位数の上限から除くものとする。

- 一 補習授業（初等数学，初等物理学，初等化学，初等生物学），「基礎英語」及び「その他別途通知する科目」
- 二 入学前の既修得単位を本学部において修得したもものとして単位認定された科目
- 三 外部検定試験等により単位認定された科目

(雑則)

第3条 この内規の定めるもののほか、特別な事情がある場合は、学科長会の議を経て、履修科目の上限を変更することができる。

附 則

この内規は、平成16年4月29日から施行し、平成14年度入学者から適用する。

(附則 以下中略)

附 則

この内規は、平成28年4月1日から施行し、平成21年度入学者から適用する。

9. 他学部開講の専門教育科目の履修について

他学部開講の専門教育科目の履修を希望する学生は、所定の「他学部科目履修許可願」を各学科教務・学生支援委員に提出しなければなりません。ただし、教職科目、博物館科目*においては不要です。

提出された他学部科目履修許可願に基づき、各学科において卒業要件単位としての算入の可否を決定し、各学科の定める教育プログラムごとの上限単位数までは、卒業要件単位として算入することができる場合があります。

【卒業要件単位への算入可能科目と算入上限単位数】

	フロンティア	専門力	学際
数学科	14 専門関連科目 <u>教職科目*</u>	14 専門関連科目、 <u>教職科目*</u> 、 文理融合科目	10 科目指定なし
物理学科	8 専門関連科目	8 専門関連科目	10 科目指定なし
化学科	10 専門関連科目	10 専門関連科目	10 科目指定なし
生物学科	10 専門関連科目	10 専門関連科目、 <u>教職・博物館科目*</u> 、 文理融合科目	10 科目指定なし
地球科学科	12 専門関連科目	12 専門関連科目、 <u>教職・博物館科目*</u>	10 科目指定なし

各学科における「専門関連科目」の基準は以下のとおり定められていますので、各学科の指示により履修して下さい。

数学科：数学に関連する科目

物理学科：理学部で開講されている科目の内容と重複しない物理学及び物理学に関連する科目。

(例：流体力学に関する科目、エレクトロニクスに関する科目等)

化学科：理学部で開講されている科目の内容と重複しない化学及び化学に関連する科目。

生物学科：生物学に関連する科目。

地球科学科：地球科学に関連する科目。

「文理融合科目」は、データサイエンティスト、弁理士、アクチュアリー志望者などを想定した科目であり、金融、経済、法律、特許、知的財産などに関連した科目が該当します。

10. 学際プログラム(複合領域科学コース)

1 定員

各学科学生定員の20%程度以内

2 内容・特色

幅広い分野の授業科目を履修することにより、複合的・学際的な学問分野に対応、進出できる学生を育成することを目的とする。
各学科の開講する専門科目を2学科以上にわたって修得し、履修を許可された教員のもとで課題研究を行い卒業する。

3 コース履修要件

本コースへの登録を申請した理学部学生のうち、教務・学生支援委員会において履修を許可された者とする。

申請基準：全学GPA(累積)が2.50以上

登録申請時期	1年次10月	2年次5月	2年次10月
コース開始時期	2年次1学期	2年次3学期	3年次1学期

4 卒業要件

本コースの履修が許可された場合は、以下の卒業要件が適用されることとなる。

科目		所属学科				
		数学科	物理学科	化学科	生物学科	地球科学科
教養教育科目計		30単位(理学部所定の卒業要件を満たすこと)				
専 門 教 育 科 目	専門基礎科目計		12単位(所属学科所定の卒業要件を満たすこと)			
	専 門 科 目	2学科以上にわたって修得すること	所属学科専門科目(課題研究及び集中講義を除く。) 12単位以上			
			他学科専門科目(課題研究及び集中講義を除く。) 12単位以上			
	課題研究		履修を許可された研究室の教員が担当する学科において定められた単位数とする。			
専門科目計		理学部開講科目72単位以上を含む82単位				
卒業要件単位計		124単位				

5 「課題研究」履修資格

課題研究を履修することができる者は、3年次終了時に上記4に掲げる卒業要件単位のうち、100単位以上を修得している者とする。

ただし、所属学科以外で課題研究の履修を希望する場合は、希望する研究室の教員の承諾を得るものとする。(この場合、各教員が受け入れる本コースの学生は2名までとする。)

6 注意事項

- (1) 複合領域科学コース希望者は、1, 2年次においても可能な限り、本コースを視野に入れて授業科目を履修することが望ましい。
- (2) 実験・演習等、授業科目によっては、他学科学生の履修が制限される場合もあるため、授業科目(課題研究を含む。)の履修に関し、事前に担当教員に受入れ基準等を確認しておくこと。
- (3) 本コースの辞退は、願出に基づき、教務・学生支援委員会において適当と認めた場合に許可する。なお、辞退が許可された場合、所属学科のカリキュラム及び卒業要件が適用されることとなる。
- (4) 本コースの履修が許可された者は、半年毎に履修報告書を作成しなければならない。

11. フロンティアプログラム(フロンティアサイエンティスト特別コース)

1 定 員

理学部入学定員の10%程度

2 目 的

広範囲な自然科学の教養，自立した倫理観と判断力，広く社会へ発信できるコミュニケーション能力を持ち，新領域や学際領域も含む科学の最前線で活躍できる研究者・技術者・教育者を育成することを目的とする。

3 特 色

- (1) 所属学科のカリキュラムに加え，本コース開講科目を副専攻的に履修する。
- (2) 個人あるいはグループによる「先取りプロジェクト研究」を行う。
- (3) 自主研究・自主ゼミについては，本コースが支援を行い，「先取りプロジェクト研究」の取り組みとして認める。学修・自主研究・自主ゼミに際し，アカデミックアドバイザー（教員）の助言を受けることができ，研究機材の利用が可能である。
- (4) 原則として，3年次に先取りプロジェクト研究を目的とした研究室の教員の指導を受けるものとする。また，希望する場合は2年次から上記指導を受けることができる。なお，詳細は別に定める。ただし，いずれの場合も希望研究室の教員の承諾を必要とする。
- (5) 所定の修了要件を満たした者には，卒業時に「コース修了証」を授与する。

4 コース履修要件

本コースへの登録を申請した理学部学生のうち，2年次進級時の選抜により許可された者とする。

5 選抜方法

2年次進級時に，書類審査，面接及び1年次の学業成績により選抜する。

6 コース開講科目及びコース修了要件

コース開講科目	単位数	コース修了要件		対象年次
		単位数	必・選	
先取りプロジェクト研究	5	5	必修	3年次
フロンティアサイエンティストリテラシー	1	1	必修	2年次～
先端科学実習	1	1	必修	2年次～
修了要件単位数合計		7		

7 卒業要件における単位の取扱い

「先端科学実習」「フロンティアサイエンティストリテラシー」の修得単位は，専門科目（関連）共通科目として所属学科の卒業要件に算入できる。

「先取りプロジェクト研究」は，卒業要件には算入しないものとする。

12. インターンシップの履修について

理学部就業体験実習（インターンシップ）の概要

趣旨・目的

インターンシップ制度とは、大学で修得した学問と現場での実践との融合を図り、基礎科学とその応用についての理解を深めることを目的として、理学部の教育課程に基づき就業体験を行うものです。

受入企業（単位認定の対象※）

①岡山経済同友会インターンシップ利用の場合

インターンシップ制度登録企業等（受入先企業等）については、岡山経済同友会から理学部へ予め通知されます。

インターンシップ希望者の受入企業等については、岡山経済同友会が受入窓口となり会員企業等と調整のうえ受入先企業等を決定し、理学部へ通知されます。

②キャンパスウェブ利用の場合

キャンパスウェブより各自、希望する企業を選択してください。キャンパスウェブ上で企業宛のエントリーシートを作成・送信することにより、大学経由での応募となります。学生の選考はエントリーシートで行われます。（企業・団体によっては面接があります。）受入可の場合、事前研修会が予定されています。

③その他インターンシップ利用の場合

その他（大学経由で申し込むもの、企業HP等の募集に各自で申し込むもの）のインターンシップについては、各募集要項に従い手続きを進めてください。

※ 各学科の教務・学生支援委員に当該インターンシップが理学部就業体験実習の趣旨・目的に合致するかインターンシップ連絡票により承認を得た上で応募してください。詳細については掲示の内容を確認してください。

インターンシップ期間等

インターンシップ期間は、原則として1週間または2週間です。

この期間中の学生に対する賃金等は、基本的には支払われません。

成績評価

学生のインターンシップ実施中の評価は受入先企業等が行い、インターンシップ終了後理学部へ報告するものとします。

理学部は、企業等からの報告に基づき単位の認定に伴う成績評価を行います。

事故対策

インターンシップ希望の学生は、賠償責任保険、傷害保険等へ加入してください。

守秘義務

インターンシップ実施中に学生が知り得た企業等内の情報について、守秘義務を負うものとします。

授業科目	就業体験実習（インターンシップ）
単 位	1 単位（実習日が1つの実習先で実質5日以上9日以下） 2 単位（実習日が1つの実習先で実質10日以上） ※単位認定の上限は2単位までとする
成績評価	修了
期 間	夏季休業中1週間または2週間
履修時期	学部1～3年

13. 外部検定試験等による単位認定について

※ 別表第1により、単位認定を希望する場合は、理学部事務室教務学生担当へ申し出てください。

※ 在学中に受験したものに限りです。

別表第1（令和2年度以降入学者（夜間主コースを除く。））

外国語の種類	単位認定の対象とする外部検定試験	単位認定基準	単位認定の対象とする授業科目の範囲	認定可能な単位数の上限
英語	TOEIC Listening & Reading 又は TOEIC Listening & Reading IP	850点以上	英語（スピーキング）－1 英語（スピーキング）－2	5単位まで
	実用英語技能検定（英検）	1級	英語（リーディング）－1	
	国際連合公用語英語検定試験（国連英検）	A級	英語（リーディング）－2	
	TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	576点以上	英語（ライティング）－1	
	TOEFL iBT	82点以上	英語（ライティング）－2	
	IELTS	6.5点以上	英語（リスニング）－1	
	GTEC Academic 4技能	678点以上	英語（リスニング）－2	
	GTEC Academic 2技能	349点以上	英語（総合）－1	
			英語（総合）－2	
			英語（S&L）－1	
			英語（S&L）－2	
			英語（R&W）－1	
			英語（R&W）－2	
	TOEIC Listening & Reading 又は TOEIC Listening & Reading IP	800点以上	英語（総合）－1 英語（総合）－2	
	TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	554点以上	英語（S&L）－1	
	TOEFL iBT	75点以上	英語（S&L）－2	
	IELTS	6.0点以上	英語（R&W）－1	
	GTEC Academic 4技能	646点以上	英語（R&W）－2	
	GTEC Academic 2技能	331点以上		
	TOEIC Listening & Reading 又は TOEIC Listening & Reading IP	750点以上	英語（総合）－1 英語（総合）－2	2単位まで
	実用英語技能検定（英検）	準1級	英語（S&L）－1	
	国際連合公用語英語検定試験（国連英検）	B級	英語（S&L）－2	
	TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	532点以上	英語（R&W）－1	
	TOEFL iBT	68点以上	英語（R&W）－2	
	GTEC Academic 4技能	613点以上		
	GTEC Academic 2技能	313点以上		
	ドイツ語	ドイツ語技能検定試験（独検）	2級以上	ドイツ語初級Ⅰ－1 ドイツ語初級Ⅰ－2 ドイツ語初級Ⅱ－1 ドイツ語初級Ⅱ－2

			ドイツ語初級Ⅰ－１（インテンシブ） ドイツ語初級Ⅰ－２（インテンシブ） ドイツ語初級Ⅱ－１（インテンシブ） ドイツ語初級Ⅱ－２（インテンシブ） ドイツ語中級	
		3級	ドイツ語初級Ⅰ－１ ドイツ語初級Ⅰ－２ ドイツ語初級Ⅱ－１ ドイツ語初級Ⅱ－２ ドイツ語初級Ⅰ－１（インテンシブ） ドイツ語初級Ⅰ－２（インテンシブ） ドイツ語初級Ⅱ－１（インテンシブ） ドイツ語初級Ⅱ－２（インテンシブ） ドイツ語中級	3単位まで
		4級	ドイツ語初級Ⅰ－１ ドイツ語初級Ⅰ－２ ドイツ語初級Ⅱ－１ ドイツ語初級Ⅱ－２ ドイツ語初級Ⅰ－１（インテンシブ） ドイツ語初級Ⅰ－２（インテンシブ）	2単位 まで
		5級	ドイツ語初級Ⅰ－１ ドイツ語初級Ⅰ－２	1単位 まで
フランス語	実用フランス語技能検定試験（仏検）	3級以上	フランス語初級Ⅰ－１ フランス語初級Ⅰ－２ フランス語初級Ⅱ－１ フランス語初級Ⅱ－２ フランス語中級	4単位まで
		4級	フランス語初級Ⅰ－１ フランス語初級Ⅰ－２ フランス語初級Ⅱ－１ フランス語初級Ⅱ－２	2単位 まで
		5級	フランス語初級Ⅰ－１ フランス語初級Ⅰ－２	1単位 まで
中国語	漢語水平考試（HSK） （筆記試験のみ） ※5級・6級については、180点以上のスコアを獲得した場合、単位認定の対象とする。	4級以上	中国語初級Ⅰ－１ 中国語初級Ⅰ－２ 中国語初級Ⅱ－１ 中国語初級Ⅱ－２ 中国語初級Ⅰ－１（インテンシブ） 中国語初級Ⅰ－２（インテンシブ）	4単位まで
	中国語検定試験（中検）	2級以上	中国語初級Ⅰ－２（インテンシブ） 中国語初級Ⅱ－１（インテンシブ） 中国語初級Ⅱ－２（インテンシブ）	

			中国語中級 中国語上級		
	漢語水平考試 (HSK) (筆記試験のみ)	3級	中国語初級Ⅰ-1 中国語初級Ⅰ-2 中国語初級Ⅱ-1	3単位まで	
	中国語検定試験 (中検)	3級	中国語初級Ⅱ-2 中国語初級Ⅰ-1 (インテンシブ) 中国語初級Ⅰ-2 (インテンシブ) 中国語初級Ⅱ-1 (インテンシブ) 中国語初級Ⅱ-2 (インテンシブ) 中国語中級		
	漢語水平考試 (HSK) (筆記試験のみ)	2級	中国語初級Ⅰ-1 中国語初級Ⅰ-2	2単位まで	
	中国語検定試験 (中検)	4級	中国語初級Ⅱ-1 中国語初級Ⅱ-2 中国語初級Ⅰ-1 (インテンシブ) 中国語初級Ⅰ-2 (インテンシブ)		
	漢語水平考試 (HSK) (筆記試験のみ)	1級	中国語初級Ⅰ-1	1単位まで	
	中国語検定試験 (中検)	準4級	中国語初級Ⅰ-2		
韓国語	韓国語能力試験	2級以上	韓国語初級Ⅰ-1 韓国語初級Ⅰ-2 韓国語初級Ⅱ-1 韓国語初級Ⅱ-2 韓国語中級	4単位まで	
		1級	韓国語初級Ⅰ-1 韓国語初級Ⅰ-2 韓国語初級Ⅱ-1 韓国語初級Ⅱ-2		
スペイン語	スペイン語技能検定	4級以上	スペイン語ベーシック1～4 スペイン語ステップアップ	4単位まで	
		5級	スペイン語ベーシック1～4		2単位まで
		6級	スペイン語ベーシック1及び2		1単位まで
イタリア語	実用イタリア語検定	3級以上	イタリア語ベーシック1～4 イタリア語ステップアップ	4単位まで	
		4級	イタリア語ベーシック1～4		2単位まで
		5級	イタリア語ベーシック1及び2		1単位まで

備考 1 英語の認定は原則として、同一科目の「-1」と「-2」に対して行うこと。やむを得ず「-1」と「-2」

の片方のみ認定する場合は、「－2」を認定する。「－1」のみの認定は、学生が「－2」をすでに履修している場合にのみ行って良いものとする。

- 2 「GTEC Academic 4 技能」のスコアのうち、2 技能のみを用いて、「GTEC Academic 2 技能」の単位認定の対象とすることはできない。

14. 岡山大学理学部における他の大学又は短期大学の専門教育 科目履修に関する内規

平成16年4月29日

学 部 長 裁 定

(趣旨)

第1条 この内規は、岡山大学理学部規程（平成16年岡大理規程第1号）第18条第2項の規定に基づき、理学部学生が他の大学（外国の大学を含む。）又は短期大学（外国の短期大学を含む。）の専門教育科目の履修（以下「他大学等履修」という。）に関して必要な事項を定めるものとする。

(出願手続)

第2条 理学部学生が、他大学等履修を希望するときは、次の各号に掲げる書類を提出することにより、理学部長に願い出るものとする。

- 一 他大学（短期大学）授業科目履修願（別紙様式）
- 二 その他必要とする書類

(許可)

第3条 他大学等履修の許可は、教授会・協議会の議を経て行う。

(単位の認定)

第4条 他大学等履修で修得した単位は、30単位を限度として教授会・協議会で認定のうえ卒業要件単位として取り扱うことができる。

(その他)

第5条 この内規の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、平成16年4月29日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

15. 授業, 単位, 履修, 試験等について

授業, 単位

授業は、講義、演習、実験、実習のいずれかの方法によりまたはこれらの二以上の併用により行われます。

授業科目の1単位当たりの学修は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成されることを標準とし、授業内容の方法による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数が定められています。

専門教育科目（1単位）

授業の種類, 方法	授業による学修時間	授業時間外の学修時間
講義	15時間	30時間
演習	15時間又は30時間	30時間又は15時間
実験, 実習	30時間又は45時間	15時間又は0時間
課題研究	必要な学修等を考慮して, 単位数を定める。	

履修登録

岡山大学学則、理学部規程及び単位修得要領等に従って、各自履修計画を立て、各年度ごとの授業時間割表・シラバス等により、履修を希望するすべての授業科目を各学期の始めに履修登録します。(理学部学生を対象としていない他学部開講科目の履修については、授業担当教員の許可を受けること。) 履修登録は指定された期間中に学生が大学内のパソコンを操作してコンピュータ登録します。(履修登録のない科目の単位修得は認められません。)

また、履修登録の手続期間以外は、原則として履修科目の変更(追加登録・取り消し)は認められません。集中講義の履修登録については掲示等によりその都度指示します。

試験(理学部専門教育科目)

- 1 試験時期
各授業担当教員の指示によって行われます。
- 2 受験心得
受験にあたっては、別に示される受験心得や各授業担当教員の指示に従って受験すること。
- 3 受験延期
病気その他やむを得ない理由により試験の受験延期を希望する場合は、「受験延期願(所定用紙)」に、医師の診断書等その理由を証明する書類等を添付して、試験日前日までに(やむを得ない場合は可能となった後直ちに)理学部事務室教務学生担当へ提出してください。
受験延期願を提出した者は、各授業担当教員の判断により追試験が実施されることがあります。
(教養教育科目は履修の手引を参照のこと。)

単位修得

単位の修得は、授業の2/3以上出席したものにつき、試験、報告書及び平素の成績を考慮して各授業担当教員が判定します。

成績評価

評語	評点	基準等
A+	90点～100点	合格(単位を授与する。)
A	80点～89点	
B	70点～79点	
C	60点～69点	
F	0点～59点	不合格(単位を授与しない。)

なお、授業科目によっては、「修了」または「認定」の標語をもって合格の評価とすることがあります。

理学部成績評価の基準

1. 成績評価は授業の教育目標に対する学習者の到達度をみるものであり、その目標と評価の方法は可能な限り具体的にシラバスに明記する。
2. 成績評価は、授業の形態（講義、実験、実習、演習、実技等）と内容に対応した適切で多面的な方法により行い、期末筆記試験などの単一手段のみによる一面的評価に偏重しないようにする。
3. 成績評価には、授業時間外の自己学習を通じて得られた学習成果が適切に反映されるように努める。
4. 同一科目について複数のクラスが開講される場合には、できる限り評価基準を統一し、担当教員による評価の個人差が生じないようにする。また、異なる科目の成績評価においても担当教員による著しい個人差が生じないように努める。
5. 成績評価の基準や方法に関する学生からの質問や疑問には適切に対応する。

成績通知

履修登録科目の成績は、学期末に公開（各自がコンピュータで確認）します。

なお、岡山大学では、保護者との連携により、学生に適切な修学指導を行うことを目的として、毎年度3月（入学した年度のみ9月と3月）に保護者の方へ成績を通知します。

他大学等の授業科目の履修について

他大学等の授業科目の履修が理学部で認められた場合は、履修して修得した単位が本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができます。

他大学の授業科目の履修を希望する者は、所定の手続により履修を申し出ること。

（「岡山大学理学部における他の大学又は短期大学の専門教育科目履修に関する内規」を参照）

その他

学生に関係あることは、事務室教務学生担当又は各学科の掲示板で連絡するので、見落とさないよう注意すること。

《 受 験 心 得 》

受験にあたっては、次の各事項に留意してください。

- ① 受験する学生は特別の指示がない限り、試験開始時刻の5分前までに所定の教室に入室を完了すること。
- ② 監督者が指定した座席において受験すること。
- ③ 受験中は必ず学生証を机の上に置くこと。
ただし、学生証を紛失又は忘れた場合は、監督者に申し出て、その指示に従うこと。
- ④ 受験中、机の上に置くことができるのは、学生証、筆記用具及びその他特に許可されたものに限る。それ以外の携行品はカバン等に入れて、座席の下に置くこと。また、机の棚板（物入れ）には何も置かないこと。
- ⑤ 携帯電話や音の出る機器は、必ず電源を切っておくこと。
- ⑥ 解答用紙には、所属学部名、学生番号及び氏名等の必要事項を必ず記入すること。
- ⑦ 試験開始後20分を経過するまでは退室できない。
- ⑧ 試験開始後20分を経過した場合は入室できない。
- ⑨ 答案用紙は、特に指定がない場合、教卓上に提出するか、又は監督者に直接手渡すこと。自己の机の上に置いて退出すると当該授業科目の単位は認定しない。
- ⑩ 受験にあたっては、厳正な態度で臨み、誤解を招くような態度や不正行為は厳に慎むこと。

なお、試験において不正行為を行った、不正行為を行おうとした、または不正行為を幫助した者に対しては、学則第58条（大学院学則第49条）により厳重な懲戒処分を行う。

試験における不正行為は次のとおりである。ここで、試験時間中とは、解答の開始から答案の提出までをいう。

- 1) 代理（替玉）受験をしたり、させたりすること
- 2) 試験時間中に、使用が許可されていないノート及び参考書等並びに電子機器類その他試験問題解答の参考となり得る物品を参照すること又は使用すること
- 3) 試験時間中に、言語、動作又は電子機器類等により他人に教示すること又は教示を受けて解答に利用すること
- 4) 答案を交換すること
- 5) 試験時間中に、他の学生の答案をのぞき見すること
- 6) 試験時間中に、使用が許可されたノート及び参考書等並びに電子機器類を貸借すること
- 7) 監督者の注意若しくは指示に従わないこと
- 8) その他、試験の公正な実施を妨げる行為をすること

また、不正行為を行った、不正行為を行おうとした、または不正行為を幫助した場合は、当該行為が行われた時点において既に単位が認定されている授業科目を除いて、当該学期に履修している全ての授業科目（学期をまたがって履修する授業科目を含む。）の単位は認定しない。

16. 試験における不正行為の取扱い

〔平成27年2月19日〕
学 長 裁 定

改正 平成28年 2月23日

改正 平成31年 3月 4日

改正 平成31年 4月23日

- 1 この取扱いは、岡山大学学生の懲戒等に関する規則（平成28年岡大規則第1号。以下「規則」という。）第20条の規定に基づき、岡山大学が実施する試験において不正行為を行った学生の取扱いについて定める。
- 2 試験における不正行為（以下「不正行為」という。）とは、以下の行為をいう。なお、試験時間中とは、解答の開始から答案の提出までをいう。
 - 一 代理（替玉）受験をしたり、させたりすること
 - 二 試験時間中に、使用が許可されていないノート及び参考書等並びに電子機器類その他試験問題解答の参考となり得る物品を参照すること又は使用すること
 - 三 試験時間中に、言語、動作又は電子機器類等により他人に教示すること又は教示を受けて解答に利用すること
 - 四 答案を交換すること
 - 五 試験時間中に、他の学生の答案をのぞき見すること
 - 六 試験時間中に、使用が許可されたノート及び参考書等並びに電子機器類を貸借すること
 - 七 監督者の注意又は指示に従わないこと
 - 八 その他、試験の公正な実施を妨げる行為をすること
- 3 不正行為を行った者には、直ちに解答を止めさせ、試験終了まで当該試験室で待機させる。

ただし、試験実施上、他の受験者に迷惑を及ぼすと判断される場合は、退室を命じ、試験終了まで、所属学部等の教務担当事務で待機させる。
- 4 不正行為が判明した場合、当該学生の所属する学部長（研究科長）は、当該学生に対し直ちに謹慎を命ずる。
- 5 不正行為が判明した場合は、当該行為が行われた時点において既に単位が認定されている授業科目を除いて、当該学生が当該学期に履修している全ての授業科目（学期をまたがって履修する授業科目を含む。）の単位は認定しない。

6 不正行為に対する懲戒処分は、規則別表の規定に基づき、退学又は停学とし、停学の始期は不正行為のあった日の翌日とする。

停学期間は、期末試験において不正行為を行った場合、3月を超えるものとする。それ以外の試験において不正行為を行った場合はこの限りではない。いずれの場合も、当該学生の所属する学部（研究科）は、当該試験の位置づけ、動機、手段等について総合的に判断し、停学期間を慎重に審議する。

7 不正行為を行おうとした場合及び不正行為を幫助した場合は、第3から第5までを準用する。

当該行為に対する懲戒処分は、規則別表の規定に基づき、停学又は訓告とし、当該学生の所属する学部（研究科）は、当該試験の位置づけ、動機、手段等について総合的に判断し、懲戒処分の量定を慎重に審議する。

8 共謀の不正行為にあつては、依頼者及び被依頼者とも原則として同一の処分とする。

9 この取扱いは、平成31年4月23日から適用する。

17. 岡山大学理学部における成績評価異議申立に関する要項

〔平成27年11月 4日〕
理学部学科長会承認

(趣旨)

第1条 この要項は、岡山大学の学生が、当該学生が履修した理学部開講科目に係る成績評価に対し異議申立を行う場合の手續について、必要な事項を定めるものとする。

(異議申立事由)

第2条 学生は、当該期の履修科目に係る成績評価について、異議ある場合は担当教員へ説明を求めることができる。担当教員からの説明を了承できず、かつ、次の各号の一に該当する場合に、理学部長へ異議を申し立てることができる。

- 一 成績の誤記入等、担当教員の誤りであると思われるもの
- 二 シラバス又は担当教員の説明等により周知している成績評価の方法から逸脱した評価であると思われるもの
- 三 その他異議申立を行うにあたり合理的又は客観的な根拠があると思われるもの

(異議申立手續)

第3条 異議を申し立てようとする学生は、履修科目の成績評価についての異議申立書(別紙様式1。以下「異議申立書」という。)を理学部教務学生担当に提出しなければならない。

- 2 異議申立ができる期間は、当該成績評価の開示日から原則として8日以内とする。
- 3 学生から異議申立があった場合、理学部長は異議申立書の写しを当該授業担当教員に送付する。
- 4 当該授業担当教員は、速やかに、履修科目の成績評価についての異議申立に係る回答書(別紙様式2。以下「回答書」という。)により、理学部長へ回答する。
- 5 理学部長は、当該授業担当教員から提出のあった回答書の内容を調査・確認し、必要と認めるときは、当該授業担当教員からさらに詳細な説明を求め、又は成績評価の訂正を求めることができる。
- 6 理学部長は、異議申立書を受理した日から原則として8日以内に、当該異議申立の結果を文書により学生へ回答するものとする。

附 則

この要項は、平成27年11月 4日から施行し、平成28年度開講科目の成績評価から適用する。